

[インド・ヨーロッパ語族の南下]

小アジア(アナトリア)…現在のトルコの領域とほぼ一致。

〈今回のポイント〉

ヒッタイト…

カッシート…

ミタンニ…

〈ヒッタイト〉…インド・ヨーロッパ語系、紀元前17世紀～

- ・特徴…馬と戦車に加えて、**鉄製の武器**を使用。
- ・小アジアに王国を建てる。都：ボアズキョイ(ハットウシヤ)
→アムル人のバビロン第一王朝を滅ぼす。

→前1286年…カデシュの戦い：vs エジプト、ラメセス2世の時代。

→戦後、現存最古の国際条約が結ばれる。

⇒海の民(東地中海一帯の民族)の侵入でヒッタイトは滅亡。

〈カッシート〉…(インド・ヨーロッパ語系)、紀元前16世紀～

- ・バビロン第三王朝として、メソポタミア南部を支配。
⇒エラム人の侵入で滅亡。

〈ミタンニ〉…(インド・ヨーロッパ語系)、フルリ人の王国を建てた。

紀元前16世紀～

- ・メソポタミア北部を支配したが、ヒッタイトに破れて衰退。
⇒アッシリアに併合される。

〈メソポタミアの文化〉

特徴…理論的な物ではなく、実用的な文化が発達。

楔形文字…シュメール人が発達させる。**粘土板**に記載された。

六十進法…シュメール人が発明。

太陰暦…シュメール人が発明。季節のずれは閏月、閏年で調整する。

→バビロニアで太陽暦を併用する**太陽太陰暦**が確立される。

一週七日制…バビロニアで確立された。

天文学・占星術の発達。

